

### まちの元気人

#### 「悠久の文化」

#### 修験の心を継ぐ



鳥海山小滝舞楽保存会

▲チョウクライロ舞の九倉之舞

古代から鳥海山信仰の拠点としての役割を果たしてきた小滝集落。鳥海山小滝舞楽保存会は昭和39年に設立されました。代々伝わってきた舞楽を、後世に引き継いでいきます。(会長の古川栄一さんからお話を伺いました)

小滝集落には、古くから鳥海山信仰の中心として金峯神社が存在し、そこに奉仕する小滝修験が集落の形成に大きな力を注いだものと思われまふ。我々の会が伝承する「御宝頭(十二段)の舞」「チョウクライロ舞(国の重要無形民俗文化財)」「鳥海山小滝舞楽(秋田県無形民俗文化財)」は修験者の儀式、芸能に由来するといわれています。ほかに「雅楽」「アマノハギ」を伝承しています。保存会は小滝自治会・金峯神社氏子総代会の機構の下に位置するものです。

舞楽の1年は、「御宝頭」の時期と「番楽」の時期に分かれるとされ、1月7日と二十日(9月1日)を境に笛、太鼓の音調やリズム



雅楽

舞楽を習熟するには稽古が大事です。若いころは「田舎臭くて恥ずかしい」と思う気持ちもありました。先輩から指導を受けた中で「戦地でも、忘れないように稽古していた。運良く生き残ったから、皆に引き継ぐことができた」という言葉が、今でも印象に残っています。我々が次の世代に、あれだけのインパクトをもって引き継いでやるだろうか。

「雅楽」は行事の中で「神を降ろす」際等に演奏されます。最近、雅楽の若手が非常に熱心で、伝わってきたものを発展させようとする気概を感じます。伝統芸能は守るだけでなく、なお技を極めたいという思いがあります。

### 県境を越えた協力態勢

#### ～ 遊佐町との災害協定締結式 ～

協定書調印後の両市町関係者



2月5日、山形県遊佐町との間で「非常災害時等における相互応援に関する協定」が締結されました。平成7年に旧象潟町が締結していたものを、にかほ市として改めて締結したものです。避難住民を一時収容する施設の提供など、隣接する地理的特性が活かされた内容が含まれています。

遊佐町役場で行われた締結式では、横山市長が「防災・消防職員の交流など、これを契機にさらなる態勢づくりをしたい」、小野寺遊佐町長が「災害時のためにも日沿道の接続が不可欠」などとそれぞれあいさつ。今後も協力し、災害に備える態勢・環境づくりを確認していました。

### 獅子ヶ鼻湿原を核にした観光を探る

#### ～ フォーラムいやしの森 獅子ヶ鼻を語ろう ～

1月25日、象潟シーサイドホテルを会場に「フォーラム いやしの森 獅子ヶ鼻を語ろう」が開催されました。一昨年の12月に羽州観光開発(株)が、国の地域資源活用事業計画の認定を受けたことにより組織された「あがりこ実行委員会」が主催したものです。

フォーラムは基調講演やパネルディスカッションを通じ、獅子ヶ鼻湿原を核にした観光の確立について語られました。官と民、旅行者や市民などから、旅行者の動向・展望や、湿原・ブナの森の魅力、懸念される環境保全や課題などについて、それぞれの立場から意見が出されました。会場は、当日に降った外の大雪を溶かすかのような熱気で溢れていました。



パネルディスカッションで語る市民の代表者など

### 秋田県知事選挙啓発標語

#### 【最優秀賞】

「一人一人の一票で 拓け秋田の新時代」  
齋藤麻美子さん(上郷小6年)  
秋田県知事選挙の啓発ポスターやテレビ広報などに使用されます。

### 第4回にかほ市長杯囲碁大会

- 【優勝】阿部 憲三さん(平沢)
- 【準優勝】渡辺 博さん(琴浦)
- 【第3位】松田 芳洋さん(関)
- 【第4位】鈴木 宏治さん(室沢)
- 【第5位】淡路 俊さん(鈴)

### 北前船の模型寄贈

昨年、全国建具展示会で受賞した加藤建具製作所(栄町)から、受賞作品と同型で精巧な北前船の模型が寄贈されました。

今後、市役所各庁舎のホールなどで展示する予定です。



### チビッコ美術館 じょうずにできた!

明星保育園 雪の組(年長)

節分のオニのお面です。桜紙を使って作りました。色とりどりのオニがいっぱい泣き虫オニ、おこりんぼオニはだーれだ

